

## シュモーさんが のこ 残してくれたもの



へいわ たいせつ った にほんご きょうざい かい © 平和の大切さを伝える日本語教材をつくる会

協力: NPO サダコレガシー シュモーに学ぶ会 ながさきげんばく しりょうかん ひろしまへい わ き ねん しりょうかん 長崎原爆資料館 広島平和記念資料館

## 2「ヒロシマ」の家プロジェクトを立ち上げる

こうどう 1) 平和のために行動しよう!

にっけいじん まも シュモーさんは、日系人を守るためにできるこ とは何でもしようと決心しました。そして、すぐ こうどう 行動しました。

にっけいじん どうりょう がくせい シュモーさんは、日系人の同僚 や学生のため た新しい仕事や 学校や 住む家を探しました。 アメリカ東部にある大学をIOO校以上訪ねて にっけいじんがくせい ほ しょうにん 日系人学生の保証人になり、引っ越しを手伝い ました。 その時はまだ、西海岸を離れて中部や とうぶ ひ こ しゅうようじょ はい 東部に引っ越せば、収容所に入らなくてもよか ったのです。

しかし、西海岸を離れなかった日系人は、わず ってにもつ かな手荷物だけで、収容所に入らなければなり

かな手荷物だけで、収容所に入らなければなりませんでした。

それでも、シュモーさんは援助し続けました。 るすった日系人の家を管理したり、収容所 を訪ねたり、自分の出来ることは何でもしました。

日系人のために一生懸命働くシュモーさんは、アメリカ政府や警察に危険な人物と思われ、いられることもありました。それでも、シュモーさんは行動し続けました。

せんそう 戦争はなかなか終わりませんでした。

そして、**1945**年 8月6日、アメリカ軍に よって広島市に原爆が落とされました。

その時、シュモーさんはこう思いました。

びろしま げんばく お ち た けんばく 広島に原爆が落ちた時、私は何マイルも離れた遠い場所にいた。 わたし からだ きず 受けなかった。 私 の 体 は傷を受けなかった。 でも、私の心は深い傷を受けた。 わたし こころ ふかい傷を受けた。 わたし こころ は深い傷を受けた。 おお この大きな罪を 償わなければならないと感じた。

機関紙『フェローシップ』簡約

2) なかなか広島に行けない……。

3日後の8月9日、アメリカ軍によって長崎 ったも 原爆が落とされました。

1945年8月15日 日本が負けて、ようや

ttんそう は終わりました。

シュモーさんは、すぐ広島に行きたいと思いましたが、簡単ではありませんでした。 連合国軍の総司令部 G H Q \*1 が、当時の日本を支配していました。日本に行くには、G H Q の許可が必要でしたが、なかなか許可されませんでした。

\*1 GHQ: General Headquarters of the Supreme Commander for the Allied Powers

それで、シュモーさんは、ララ\*2 という団体 とおして、食料や衣服を日本に送りました。

\*2 ララ LARA: Licensed Agencies for Relief in Asia

その間もずっと、日本に行く方法を探し続けました。

ようやくチャンスが来ました。栄養不足の日本の子どもたちにミルクを飲ませたいと、ララがアメリカからヤギを贈ることになったのです。シュモーさんは思いました。

そうだ、ヤギの世話をすれば、

日本に行ける……



1948年、シュモーさんは 船の中で、ヤギの世話をしながら、ついに日本に行くことができました。横浜港に着いて、すぐに広島市に向かいました。

原爆が落とされて3年経っても、広島ではたくさんの人たちが、不自由な生活をしていました。 焼け残った材料で建てた屋根と壁だけの小屋は、台所もトイレもありません。ガラスがないので、窓には紙が貼ってあります。シュモーさんは、それを自分の目で確かめて、広島に家を建てることを、固く決心しました。

だけ残った材料で建てた小屋



まった。 べいこくせんりゃくぼくげきちょう さだん しょそう べいこくこくりっこうぶんしょかん ていきょう ひろしまへいわ きねんしりょうかん 撮影:米国戦略爆撃調査団 所蔵:米国国立公文書館 提供:広島平和記念資料館 ©

## 3)「ヒロシマの家」プロジェクトを立ち上げる

広島に家を建てるには、仲間とお金が必要です。 シュモーさんは、一旦アメリカに帰って、「ヒロシマの家」ワーク・キャンプ・プロジェクトを立ち上げます。(以降「ヒロシマの家」プロジェクトと省略します)

まず、親戚、友人、知人約300人、でよりひとりに手紙を書いて、プロジェクトへの参加や寄付をお願いします。

5歳の少年が | 年間おやつをがまんして、そのおやつ代を寄付してくれたこともあります。 たくさんの人から、4300ドル(| 949年 当時)が集まりました。これで 広島に家をいく つか建てられます。また、シュモーさんと問じ まも 思いのアメリカ人3人が一緒に広島に行って家 を建てることになりました。

原爆が落とされてから4年目の1949年のはる。 春、ついに GHQ から日本に行く許可が出ました。 シュモーさんは、日本に向けて出発する前に 日本の天皇に「ヒロシマの家」プロジェクトの もくてきを書いた手紙を送りました。また、広島市 ちょう や色々な人たちと手紙で連絡をとって、協

そして、当時 日本では手に入りにくかった釘 ヤ ガラス、水道のパイプ、大工道具、食 料 などをアメリカで 準備しました。 病院に届ける薬 など医療品も 準備しました。

力をお願いしました。

## シュモーさんとアメリカ人の仲間3人



**絵: 山田夢乃** <u>『シュモーハウス』 (NPO多管語多読</u>) より

1949年7月17日、53歳のシュモーさんとアメリカ人の仲間3人はサンフランシスコから船で出発しました。お金を節約するためにいちばんやすい切符を買ったので、船内は人がいっぱいでぎゅうぎゅうでした。サンフランシスコから横浜港まで2週間もかかりました。

まうきょう 東京では、「ヒロシマの家」を一緒に建てる若 い仲間6人と合流しました。一年前に、シュモーさんが日本にヤギを連れて来た時に東京で知り合った人たちです。

シュモーさんたち I O 人は広島に行く列車に 乗りました。また、一番安い切符を買いました。 れっしゃの中は 汚くて、暑くて、そこでも人がいっぱ いでぎゅうぎゅうでした。そんな大変な思いをし ながら、8月4日、ようやく広島駅に着きました。 ところが、広島駅では、シュモーさんたちをび っくりさせることが待っていました!

> <sup>つづ</sup> (続く)

Proibido a reprodução de imagens sem autorização. Nghiêm cấm tái sử dụng hình ảnh. 禁止私自转载、加工/版权所有。 तस्वीरों को बिना अनुमति के दुबारा छापना प्रतिबन्धित है Unauthorized reproduction of images is prohibited ©

っぎ 次は 3「ヒロシマの家」をつくる